

<仮設住宅のGHQ（精神健康）調査について>

〔調査目的〕 密度の高い戸別訪問・〔調査結果〕 リスクの高い人を重点的に訪問

身体的症状を訴える人、不安、不眠を訴える人、社会的活動障害のある人、うつ状態の人等
様々な人に支援する。

トラウマを体験した人は、人間関係が破壊されると言われるが、仮設住宅内の人間関係のな
さに心傷めることがしばしばある。仮設内の事が分かれば分かるほどボランティアに対しても
中傷があり、支援の難しさを知る。調査結果は現在分析中です。関心のある方はご連絡くださ
い。職業別、男女別、年齢別、恒久住宅の当選別の調査をする。仮設生活では、時間経過が
あってもリスクは下がらない。恒久住宅へ転居したときが、こころの再建期と思う。遠隔地仮
設がゆえに分析できない要因もある。継続的に関われば関わるほど理解できないことばかりで
ある。何も分からないが、被災者のSOSはキャッチできる感性は持ち合わせている

私たちは、長期にわたる仮設住居での暮らしが心の健康に与える影響について調査しております。この調査で「仮設住居暮らし」の人数を明らかにすることにより、今後どのような支援が必要なのかを考察する貴重な調査になります。なお、皆さんの回答による個人的な情報は決して外部にもらすことはいたしません。

姫路こころのケアネットワーク

※ この最近の貴方自身について、当てはまるものに○で囲んでください。

性別(男・女) 年齢()才 職業() 復旧意向に申し込み(した・しなかった) (当選・落選)

- 母
- | | | | |
|------------------------------------|-----|-----|-----|
| 1. 気分が健康状態は | □回答 | □回答 | □回答 |
| 2. 虚脱感() | | | |
| 3. 元気が、つかれを感じたことは | | | |
| 4. 涙が止まらなくなったことは | | | |
| 5. 頭痛がしたことは | | | |
| 6. 目が重く感じるようになったことは | | | |
| 7. からだがほてったり寒かったりしたことは | | | |
| 8. 心配ごとがあまりよく眠れないことは | | | |
| 9. 夜中に目をさますことは | | | |
| 10. 口が苦く感じるようになったことは | | | |
| 11. 記憶がぼやけて、同じことを繰り返すことは | | | |
| 12. たいした理由がないのに何かがこわくなった、上り下りしたことは | | | |
| 13. いろいろな理由で、泣き止まないことがあることは | | | |
| 14. 不安()を感じ、強硬()したことは | | | |
| 15. いろいろな理由で、精神的な生活を続けることが | | | |
| 16. いつもより何かをするのに、時間がかかることは | | | |
| 17. いつもよりすべてがうまくいかなかったり、悔しいことが | | | |
| 18. いつもより自分のやっていることに自信がなくなることが | | | |
| 19. いつもより容易に()も気持ちを休めることが | | | |
| 20. 問題を解決()できなかったことは | | | |
| 21. いつもより日常生活()が難しくなることは | | | |
| 22. 自分自身にたいして、人間性を感じたことは | | | |
| 23. 人に比べて、自分の生活()を感じたことは | | | |
| 24. 生きていることに意味がないと感じたことは | | | |
| 25. 以前から抱えていた()を感じたことは | | | |
| 26. いろいろな()がなくなるように感じることが | | | |
| 27. 様々な()を感じたことは | | | |
| 28. 自殺()を考えたことは | | | |

※他に、いざと思うこと何でも書いてください。